

# 2009 年度後期 学生による授業評価アンケート結果

\*2009 年度の授業評価アンケートは、常勤教員 2 科目、非常勤講師 1 科目とし、先生方にアンケート対象科目を選んでいただき実施いたしました。

\*評価は 5 段階評価です。

## 1. 全体の結果

実施科目数、全体の平均値(すべての科目の平均値の和を科目数で割ったもの)、質問項目別の全体平均値は次のとおりです。

①実施科目数 **131** 科目 (2008 年度後期 136 科目)

◆「通年科目」は原則として後期に実施するところになっているため、前期に比べて実施科目数が多くなっています。

②全体の平均値

【表 1-1】

	2009 年度後期	2008 年度後期
平均	<b>3.99</b>	3.98

③質問項目別に見た全体平均(2008 年度後期との比較)

◆11 項目について 2008 年度後期に実施した点数より上回っています。問 14「授業内容に興味・関心をもった」は、昨年度と比べて 0.05 ポイント高くなっています。

【表 1-2】

設問内容	2009 後期	2008 後期	
1.シラバスが授業に反映されていた	<b>4.09</b>	4.07	↑Up
2.成績評価の基準が示されていた	<b>3.99</b>	4.01	↓Down
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	<b>4.03</b>	4.05	↓Down
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	<b>3.89</b>	3.89	—
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	<b>4.02</b>	3.99	↑Up
6.学習に適した環境が保たれていた	<b>3.78</b>	3.78	—
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	<b>4.00</b>	3.98	↑Up
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	<b>4.07</b>	4.06	↑Up
9.教員の熱意が感じられた	<b>4.25</b>	4.24	↑Up
10.課題の量は適切だった	<b>4.01</b>	4.00	↑Up
11.課題の内容は学習に役立った	<b>4.10</b>	4.07	↑Up
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	<b>4.00</b>	3.99	↑Up
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	<b>3.66</b>	3.64	↑Up
14.授業内容に興味・関心をもった	<b>4.07</b>	4.02	↑Up
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	<b>3.74</b>	3.76	↓Down
16.この授業を受けてよかったと思う	<b>4.22</b>	4.19	↑Up

## 2. 科目分野別の結果

\*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等に分類し、平均値を出したものが次の【表 2-1】です。「基幹科目」は各学科の専門科目を意味します。

### ①分野別の平均(2008年度との比較)

◆『基礎科目』は主に 1,2 年生に開講されている科目です。人間としての「根っこ」の部分を作っていく大切な科目が主体となっていますが、自分の将来とのつながりを直接意識できる『基幹科目』と比較すると毎回低い数値になる傾向にあります。しかし、今回特に「現代教養」のポイントが高いことに注目したいです。

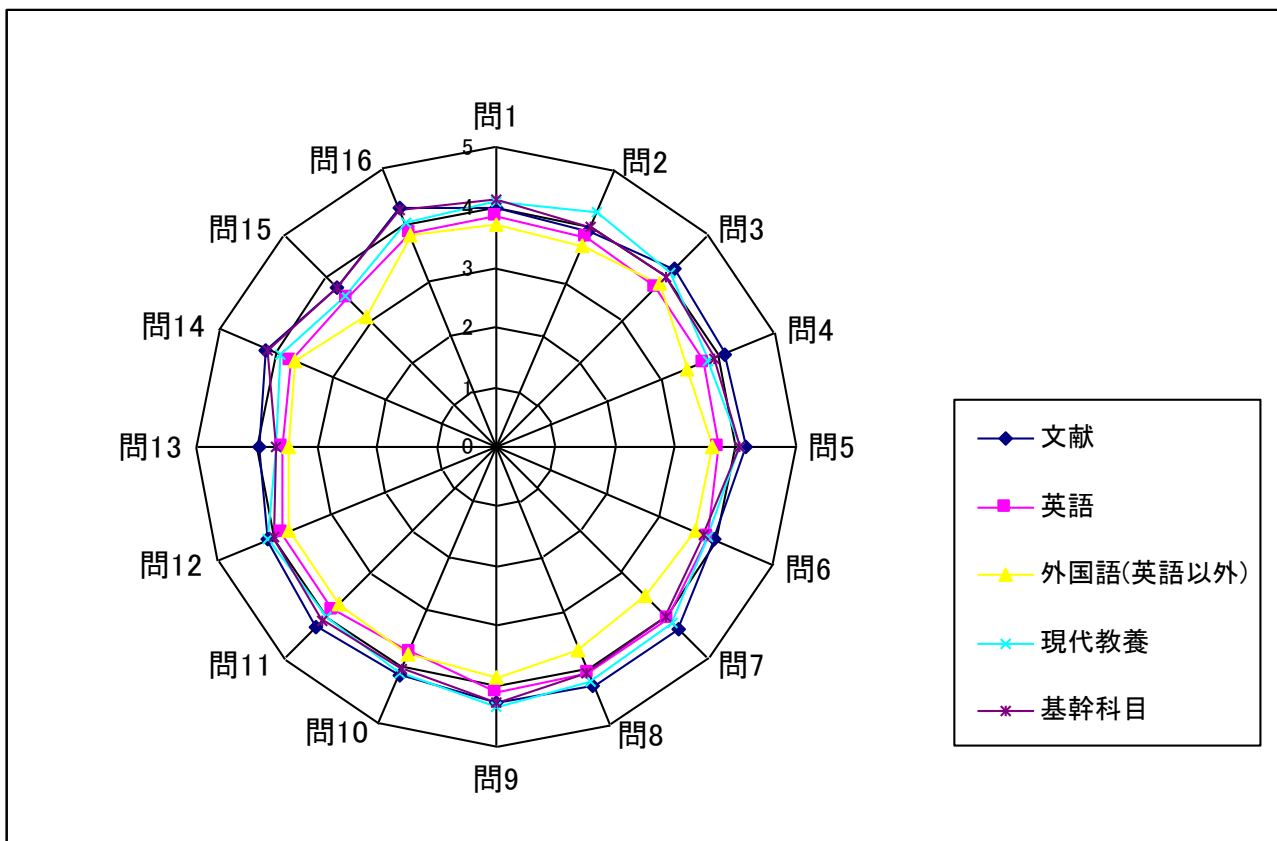
【表 2-1】

科目分野	2009 年度後期		2008 年度後期	
	平均	科目数	平均	科目数
基礎科目:文献講読演習	4.12	9	4.25	4
基礎科目:英語科目	3.81	8	3.76	7
基礎科目:外国語(英語以外)	3.63	6	4.08	6
基礎科目:現代教養	4.01	6	3.77	11
基幹科目	4.01	91	4.05	99

### ②質問項目別で見たレーダーチャート

【表 2-1】の科目分野について質問項目のレーダーチャートで見たものが下の【グラフ1】です。設問内容及び平均数値は【表 2-2】を参照してください。設問内容及び平均数値は【表 2-2】を参照してください。

【グラフ1】



※質問項目別にみた平均値

【表 2-1】で示した科目分野について、質問項目別に見た平均値は次のとおりです。

【表 2-2】

設問内容	文献	英語	外国語 (英語以外)	現代教養	基幹科目
1.シラバスが授業に反映されていた	3.98	3.86	3.70	4.08	4.12
2.成績評価の基準が示されていた	3.91	3.80	3.63	4.25	4.00
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	4.19	3.79	3.85	4.09	4.03
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	4.13	3.73	3.41	3.81	3.91
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	4.17	3.69	3.61	4.06	4.05
6.学習に適した環境が保たれていた	3.95	3.84	3.59	3.85	3.76
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	4.31	4.07	3.53	4.16	3.98
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	4.29	4.10	3.67	4.23	4.06
9.教員の熱意が感じられた	4.28	4.10	3.86	4.32	4.25
10.課題の量は適切だった	4.11	3.71	3.76	4.08	4.03
11.課題の内容は学習に役立った	4.22	3.85	3.71	3.98	4.13
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	4.12	3.85	3.75	4.12	4.00
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	3.96	3.58	3.45	3.67	3.67
14.授業内容に興味・関心をもった	4.15	3.71	3.64	3.90	4.11
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	3.79	3.49	3.07	3.58	3.79
16.この授業を受けてよかったと思う	4.30	3.86	3.81	4.03	4.26

### 3. 授業形態別での結果

\* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものが【表 3-1】です。

◆ピアノが「4.61」と高いことがわかります。

#### ①授業形態別の平均値

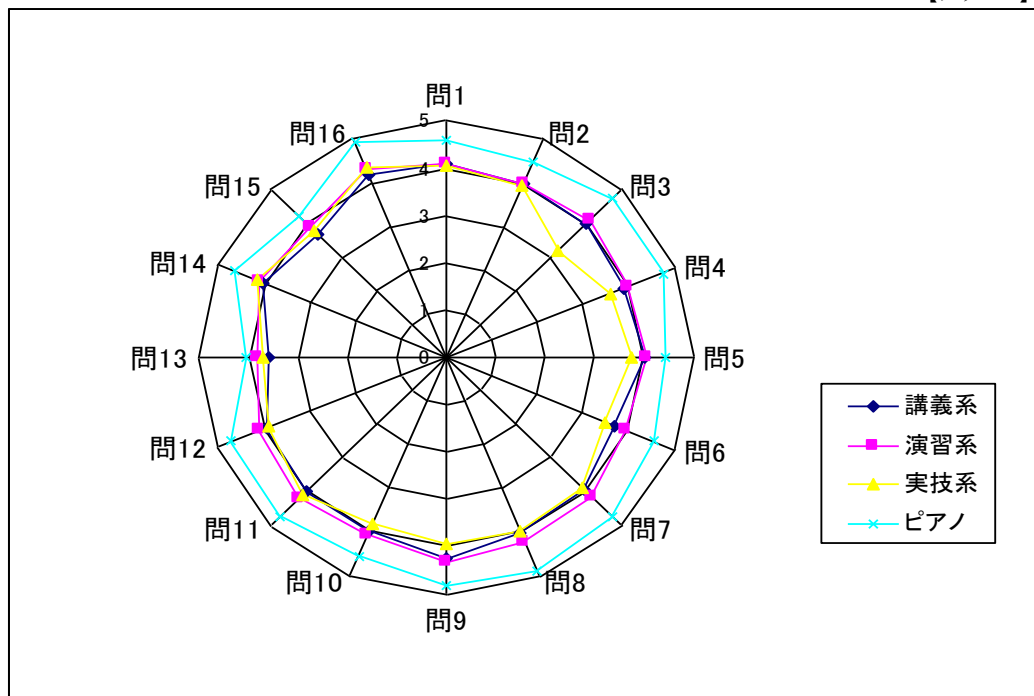
【表 3-1】

授業形態	2009 年度後期		2008 年度後期	
	平均	科目数	平均	科目数
講義系	<b>3.95</b>	68	3.93	73
演習系	<b>4.08</b>	36	4.10	37
実技系	<b>3.84</b>	2	—	—
ピアノ	<b>4.61</b>	24	—	—

## ②授業形態別に見るレーダーチャート

【表 3-1】で示した銃合計大別の科目について、レーダーチャートで見たものが下の【グラフ 2】です。設問内容及び平均数値は【表 3-2】を参照してください。

【グラフ 2】



### ※質問項目別にみた平均値

【表 3-1】で示した授業形態別の結果を、さらに質問項目別に見たものが次の【表 3-2】です。

◆ピアノ系科目での満足度は高くなっています。

【表 3-2】

設問内容	講義系	演習系	実技系	ピアノ
1.シラバスが授業に反映されていた	4.07	4.08	4.05	4.58
2.成績評価の基準が示されていた	3.98	3.98	3.92	4.47
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	4.01	4.10	3.22	4.77
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	3.84	3.98	3.60	4.72
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	4.01	4.06	3.73	4.44
6.学習に適した環境が保たれていた	3.71	3.94	3.46	4.53
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	3.92	4.16	3.89	4.75
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	4.00	4.20	3.96	4.85
9.教員の熱意が感じられた	4.22	4.32	3.95	4.81
10.課題の量は適切だった	3.96	4.09	3.83	4.56
11.課題の内容は学習に役立った	4.02	4.20	4.07	4.72
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	3.95	4.08	3.87	4.69
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	3.60	3.80	3.69	4.04
14.授業内容に興味・関心をもった	4.02	4.13	4.15	4.67
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	3.68	3.88	3.77	4.23
16.この授業を受けてよかったと思う	4.17	4.26	4.31	4.89

## 4. 受講者数別での結果

### ① 受講者数別の平均値

受講者数別の科目で見た平均値は以下のとおりです。

【表 4-1】

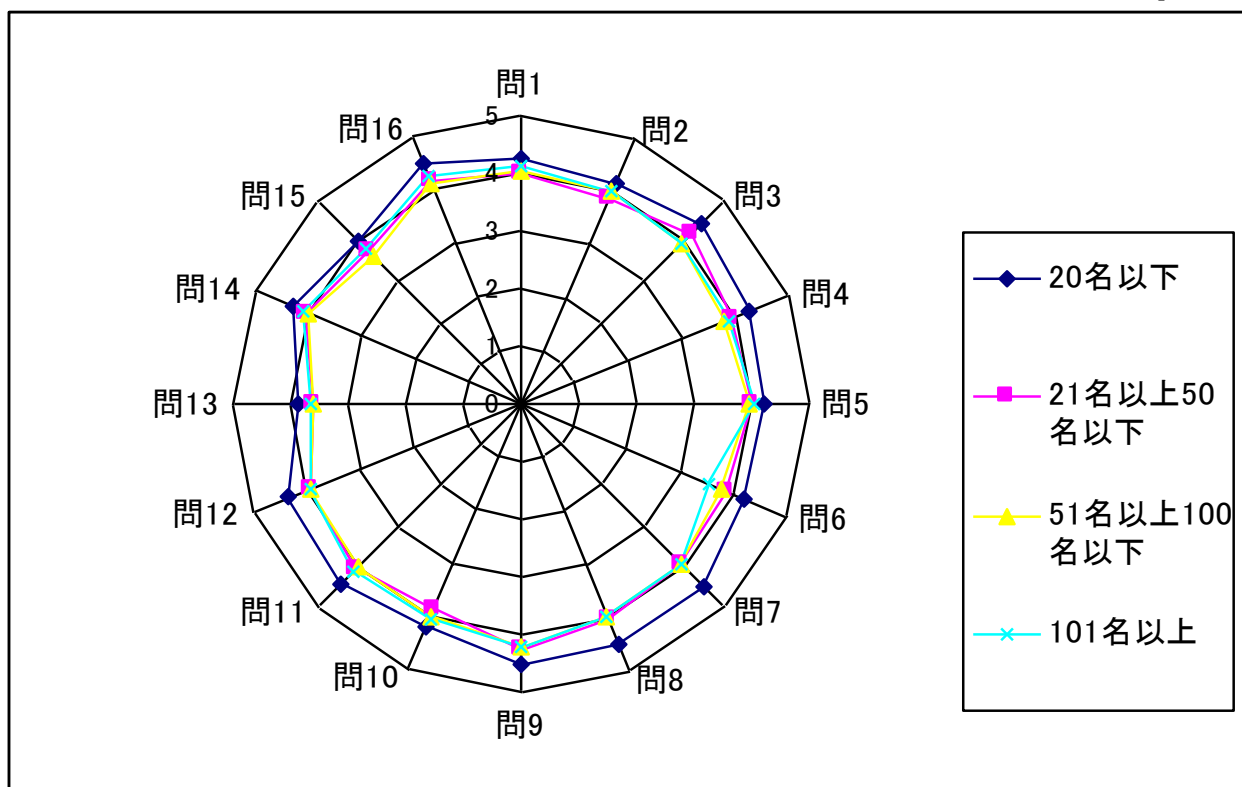
受講者数	2009 年度後期		2008 年度後期	
	平均	科目数	平均	科目数
20 名以下	<b>4.30</b>	56	4.30	53
21 名以上 50 名以下	<b>3.97</b>	29	3.82	39
51 名以上 100 名以下	<b>3.94</b>	32	4.05	30
101 名以上	<b>3.97</b>	14	3.94	17

### ② 受講者数別に見るレーダーチャート

【表 4-1】の受講者数別の科目を質問項目のレーダーチャートで見たものが【グラフ 3】です。

設問内容及び平均値は【表 4-2】を参照してください。

【グラフ 3】



## ※質問項目別にみた平均値

【表 4-1】で示した受講者数別の科目について質問項目別の平均値で見たものが【表 4-2】です。

【表 4-2】

設問内容	20 名以下	21 名以上 50 名以下	51 名以上 100 名以下	101 名以上
1.シラバスが授業に反映されていた	4.27	4.02	4.05	4.11
2.成績評価の基準が示されていた	4.18	3.88	3.99	3.98
3.教員の声や言葉の聞き取りやすかった	4.43	4.17	3.97	3.92
4.授業の進行・内容のわかりやすかった	4.28	3.94	3.80	3.86
5.板書・資料・教科書等は授業内容の理解に役立った	4.22	4.00	3.97	4.05
6.学習に適した環境が保たれていた	4.21	3.86	3.79	3.58
7.質問をくみ上げようとする教員の配慮があった	4.48	3.97	3.95	3.93
8.質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	4.53	4.05	4.01	4.01
9.教員の熱意が感じられた	4.51	4.27	4.21	4.20
10.課題の量は適切だった	4.23	3.88	3.98	4.04
11.課題の内容は学習に役立った	4.43	4.05	4.00	4.11
12.学生の努力が公正に評価されるように教員の配慮がなされていた	4.35	3.94	3.97	3.96
13.自分(学生)は十分に準備をして授業に出席した	3.89	3.61	3.62	3.67
14.授業内容に興味・関心をもった	4.32	4.04	3.99	4.10
15.いろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	4.00	3.73	3.67	3.77
16.この授業を受けてよかったと思う	4.54	4.18	4.14	4.24

## 5. 教員のフィードバックアンケート結果から

\* 学生の皆さんにご協力いただいた授業評価アンケートを受けて、先生方へ授業改善に対するフィードバックアンケートを実施しました。回答者数及びアンケート結果は次のとおりです。アンケートの結果はグラフにし、授業評価に対する教員の意見や感想を掲載しております。

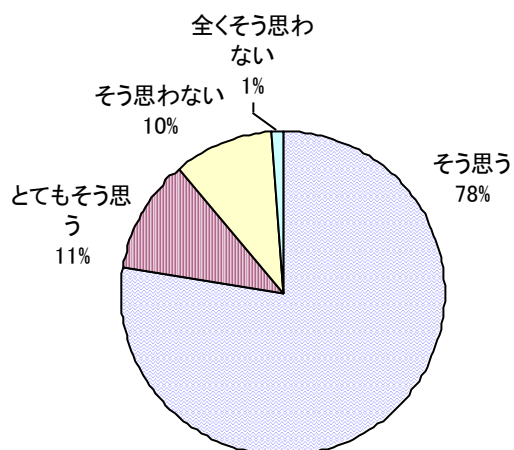
### ① 回答者数

●常勤教員 37 人(回収率 73%)

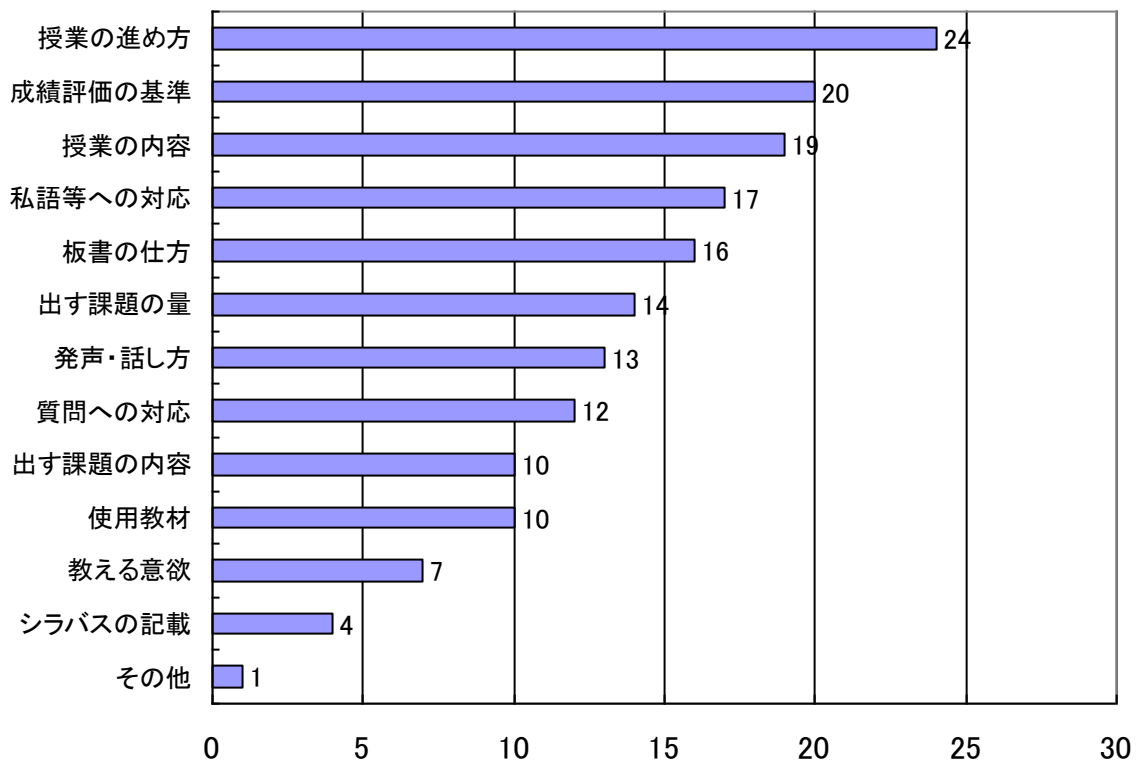
●非常勤講師 44 人(79%)

## ② アンケートの内容とその結果

### 問1 授業評価アンケートは今後の授業改善につながると感じますか？

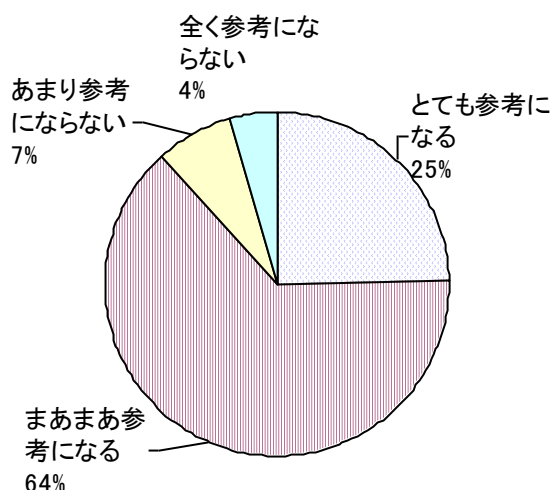


### 問2 具体的にどのような点を改善しようと思いましたか？



◆前回同様に『授業の進め方』を意識されている先生が多いです。

### 問3 「自由記述アンケート」は参考になりますか？



#### 『参考になる』と回答された先生方の主なコメント

- 自由と意見は成熟な2つの価値です。だから、学生はこの機会を利用して、意見をできる限り頻繁に発せることができるということを学んでほしいです。
- 学生が自分の言葉で具体的に記述してくれているので、授業の改善に役立ちます。
- 学生たちの本音が少し見えるようで、励みになります。
- 具体的な指摘があり参考になります。
- 好意的であれ、批判的であれ、学生の声・印象は、授業改善に役立てていきたい。

#### 『あまり参考にならない』と回答された先生方の主なコメント

- 学生が気を使っているようなので、本音はわかりにくいと感じます。

## 6. まとめ

2003年度から学生による授業評価アンケートを実施してきました。回数を重ねることに、授業改善に対する先生方の意識にも様々な変化が起きているように感じます。数値によるデータは、授業分野・形態別などの傾向を見ることができますが、より具体的な授業改善のためには「自由記述式アンケート」に書かれている学生からの直接的な意見が、とても効果的に活用されているように思われます。

大学教育FDセンターでは、長崎純心大学で学ぶ学生へ、より満足した授業を受講してもらうために、これらの結果や意見を真摯に受け止め、さらなる工夫や研究を進めていかなければならないと考えています。

ただ、「よりよい授業」を構築していくためには、教員と学生の双方向性の働きがあってこそだと思います。今後とも授業改善に対し、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。